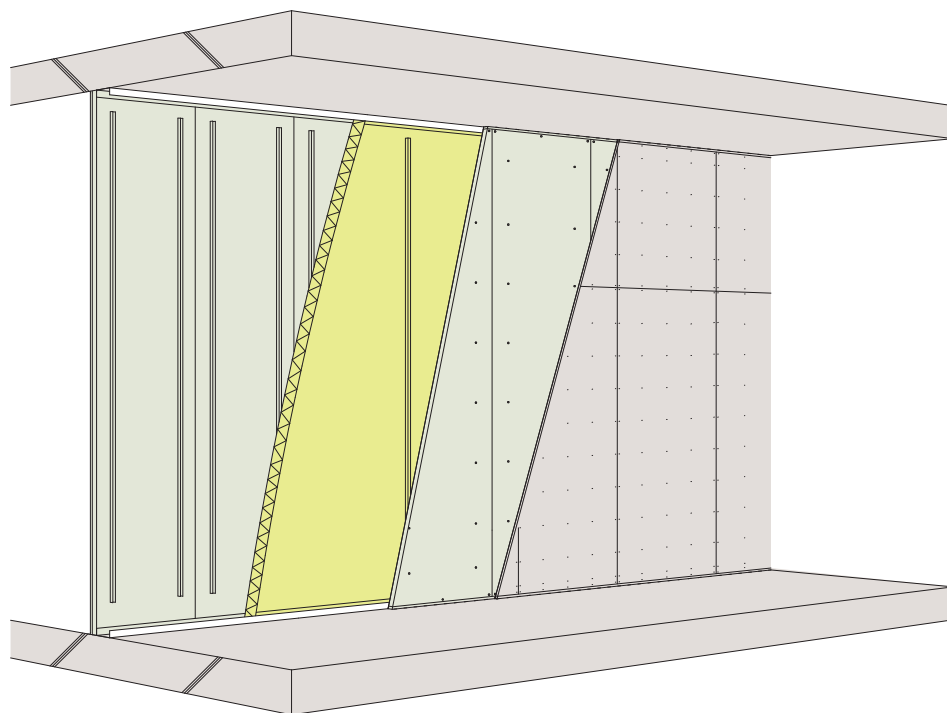




ノンスタッド工法

耐火遮音構造間仕切壁システム

チヨダパラウォールシリーズ



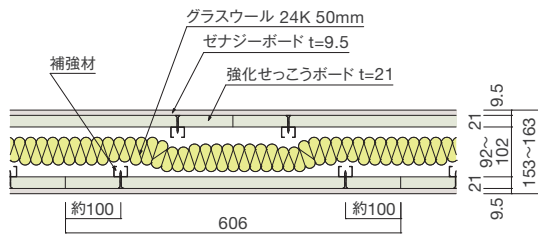
特徴

1時間耐火構造で高い遮音性能を有する間仕切壁。マンションの戸境・ホテルの客室間等の区画壁に最適。また、せっこうボードと補強材を組み合わせた商品で、中間間柱のスタッドが不要。

ゼナジーパラウォール60

遮音性能	TL _D -60
耐火構造	FP060NP-0467 (2)
遮音構造	SOI-0229
工法	ノンスタッド工法

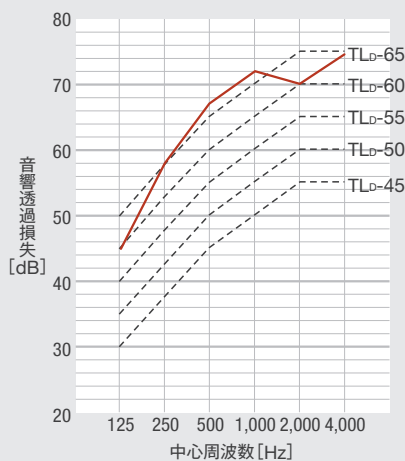
施工断面図



構成材料

上張材	ゼナジーボード 9.5mm
下張材	強化せっこうボード 21mm
吸音材	グラスウール 24K~32K 50mm ロックウール 30K 50mm~
ランナー	□ -92×40×0.8mm
端部スタッド	□ -90×45×0.4~0.8mm □ -90×45×0.4~0.8mm
補強材	シングル野縁、角スタッド (下張材1枚につき裏面に2本取付)
接着剤	SDボンド 100~200g/m ² 点付け
目地処理	V目地仕上げ可
四周処理	上部:シーリング材+スキマナイト 下部:FR フェルト+シーリング材+スキマナイト
壁厚	153~163mm
壁重量	54.1kg/m ² ~

遮音性能 (壁厚153mm、グラスウール 24K50mmの場合)

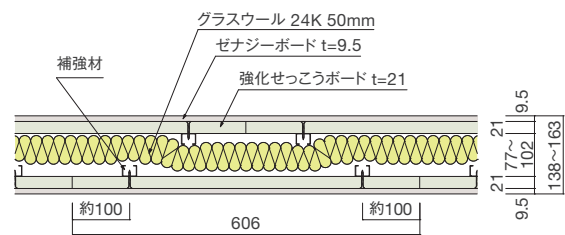


測定機関: (一財) 小林理学研究所タイプII試験室

ゼナジーパラウォール59

遮音性能	TL _D -59
耐火構造	FP060NP-0467 (2)
遮音構造	SOI-0229
工法	ノンスタッド工法

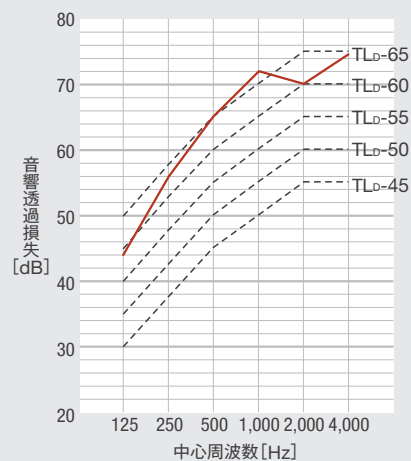
施工断面図



構成材料

上張材	ゼナジーボード 9.5mm
下張材	強化せっこうボード 21mm
吸音材	グラスウール 24K~32K 50mm ロックウール 30K 50mm~
ランナー	□ -77×40×0.8mm
端部スタッド	□ -75×45×0.4~0.8mm □ -75×45×0.4~0.8mm
補強材	シングル野縁、角スタッド (下張材1枚につき裏面に2本取付)
接着剤	酢ビ系 100~200g/m ² 点付け
目地処理	V目地仕上げ可
四周処理	上部:シーリング材+スキマナイト 下部:FR フェルト+シーリング材+スキマナイト
壁厚	138~163mm
壁重量	54.1kg/m ² ~

遮音性能 (壁厚138mm、グラスウール 24K50mmの場合)

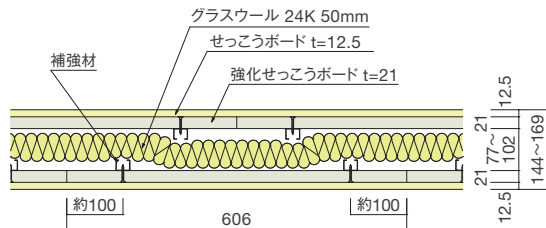


測定機関: (一財) 小林理学研究所タイプII試験室

パラウォール55

遮音性能	TL _D -55
耐火構造	FP060NP-0466 (2)
遮音構造	SOI-0229
工法	ノンスタッド工法

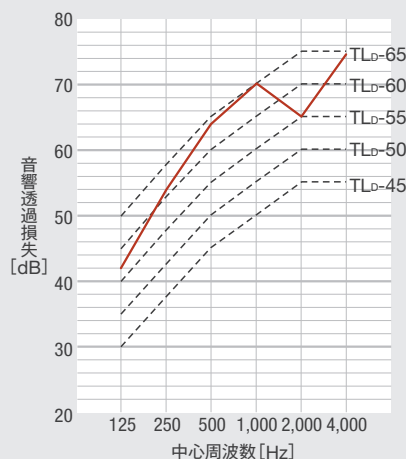
施工断面図



構成材料

上張材	せっこうボード 12.5mm
下張材	強化せっこうボード 21mm
吸音材	グラスウール 24K~32K 50mm ロックウール 30K 50mm~
ランナー	□ -77×40×0.8mm
端部スタッド	□ -75×45×0.4~0.8mm □ -75×45×0.4~0.8mm
補強材	シングル野縁、角スタッド (下張材1枚につき裏面に2本取付)
接着剤	酢ビ系 100~200g/m ² 点付け
目地処理	V目地仕上げ可
四周処理	上部:シーリング材+スキマナイト 下部:FR フェルト+シーリング材+スキマナイト
壁厚	144~169mm
壁重量	50.4kg/m ² ~

遮音性能 (壁厚144mm、グラスウール 24K50mmの場合)

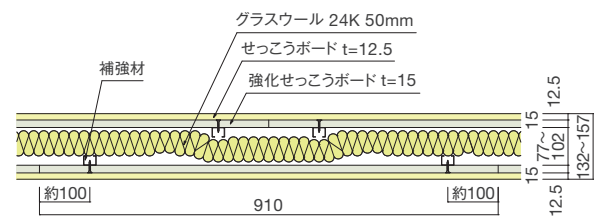


測定機関: (一財) 小林理学研究所タイプII試験室

パラウォール53

遮音性能	TL _D -53
耐火構造	FP060NP-0466 (2)
遮音構造	SOI-0229
工法	ノンスタッド工法

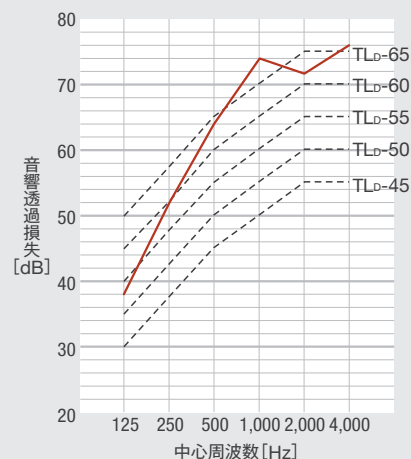
施工断面図



構成材料

上張材	せっこうボード 12.5mm
下張材	強化せっこうボード 15mm
吸音材	グラスウール 24K~32K 50mm ロックウール 30K 50mm~
ランナー	□ -77×40×0.8mm
端部スタッド	□ -75×45×0.4~0.8mm □ -75×45×0.4~0.8mm
補強材	シングル野縁、角スタッド (下張材1枚につき裏面に2本取付)
接着剤	SDボンド 100~200g/m ² 点付け
目地処理	V目地仕上げ可
四周処理	上部:シーリング材+スキマナイト 下部:FR フェルト+シーリング材+スキマナイト
壁厚	132~157mm
壁重量	41.4kg/m ² ~

遮音性能 (壁厚132mm、グラスウール 24K50mmの場合)



測定機関: (一財) 小林理学研究所タイプII試験室

施工上の注意事項

● 壁高さ制限

壁高さは3.4mまでとなります。

● 補強材の取り付け

下張り材には、補強材を取りつける必要があります。

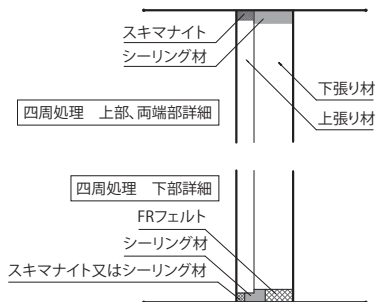
補強材は幅方向端部から約100mm、長さ方向端部から約100mmの位置に取り付けます。補強材取付位置を固定できるガイド等を用いて施工して下さい。

● 四周処理

右図のように処理して下さい。

下部にはFRフェルトが必須です。

※ 詳細に関しては、施工要領書をご覧ください。



壁高さによる補強材選定

補強材一覧

記号	名称	形状	ボードへの留付け図
CS-19	19形シングル野縁	25×19 t0.5 (JIS材)	
CS-25	25形シングル野縁	25×25 t0.5 (JIS材)	
KS-25	角スタッド2540	25×40	
KS-45	角スタッド4540	45×40	

壁高さによる補強材 (荷重1.0Gに対して、許容たわみ量1/200を満たす)

ゼナジーパラウォール(59,60)、パラウォール55

補強材	補強材留付け ビス間隔	ボード1枚あたり の補強材本数	壁高さ			
			2.7m	2.9m	3.1m	3.4m
19形シングル野縁	@300mm	2本	■			
25形シングル野縁	@300mm	2本		■		
25形シングル野縁	@100mm	2本			■	
角スタッド2540	@300mm	2本			■	
角スタッド2540	@100mm	2本				■

パラウォール53

補強材	補強材留付け ビス間隔	ボード1枚あたり の補強材本数	壁高さ				
			2.4m	2.7m	2.9m	3.3m	3.4m
19形シングル野縁	@300mm	2本	■				
25形シングル野縁	@300mm	2本		■			
25形シングル野縁	@100mm	2本			■		
角スタッド2540	@300mm	2本			■		
角スタッド2540	@100mm	2本				■	
角スタッド4540	@300mm	2本					■

チヨダウーテ株式会社

- 札幌支店** 〒003-0027 北海道札幌市白石区本通14丁目北5番30号
TEL (011) 865-7100 / FAX (011) 865-7105
- 東京支社** 〒111-8520 東京都台東区寿3丁目14番11号 蔵前チヨダビル6階
TEL (03) 6635-1650 / FAX (03) 5828-2860
- 中部支店** 〒510-8570 三重県三重郡川越町高松928番地
TEL (059) 365-5211 / FAX (059) 364-5219
- 大阪支店** 〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江1丁目1番14号 四ツ橋中塾ビル6階
TEL (06) 6541-7735 / FAX (06) 6541-8060
- 福岡支店** 〒811-2321 福岡県糟屋郡粕屋町内橋西3丁目6番1号
TEL (092) 931-7373 / FAX (092) 931-7371

多くのお問い合わせをいただいております、電話がつかない場合がございます。
ホームページのフォームからもお問い合わせいただけます。

認定書やカタログ一式は、
ホームページからダウンロードできます

